

アンモニウムイオン測定用 FIA(フローインジェクション分析)装置 OG-FI-310NH



READY TO USE

FIAの主要要素をすべてひとつの筐体に納めたコンパクトな一体型設計

空気恒温槽を装備して主要パーツを格納することで測定の安定化を向上

ペリスタ型3連ポンプ採用で測定中の送液トラブルを大幅に低減

検出部は白色LED光源と干渉フィルター採用で恒温槽に入る小型設計

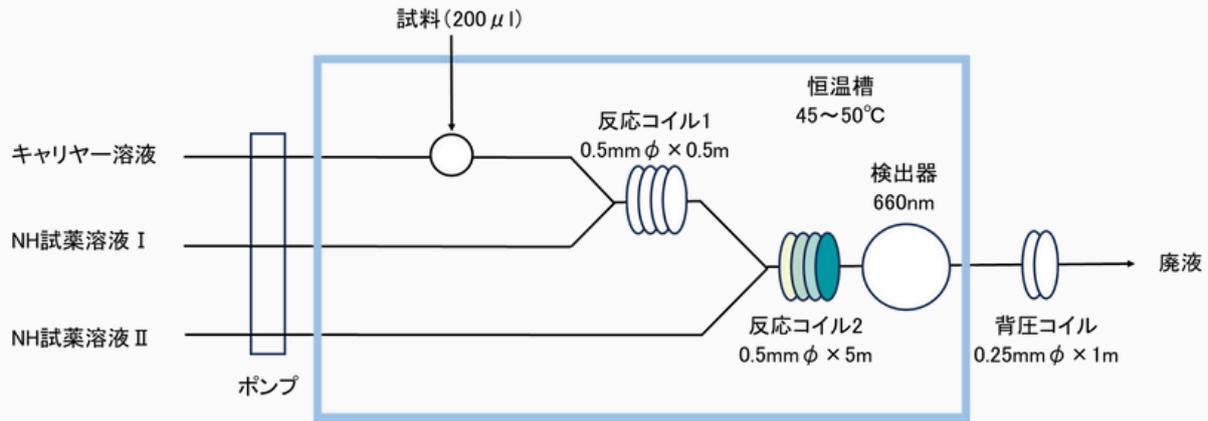
フローシグナル記録解析システムやオートサンプラーなど付属装置も充実

小型化と一体型の推進に加えてコスト削減を追求することで低価格を実現

測定原理	サリチル酸によるインドフェノールブルー吸光度法
定量下限	N-NH ₄ ⁺ : 0.01 mg/L
送液ポンプ	流量可変小型ローラーポンプ (最大3流路) 流量範囲: 0.01~1.5 mL/min, ファームドチューブ
検出部	吸光度計 (ダブルビームシングルセル)
光源	白色発光ダイオード (LED), 干渉フィルター 660nm
フローセル	材質: PEEK, 光路長: 10 mm (標準)
インジェクター	6方切替バルブ, ループ計量方式
恒温槽部	エアオープン方式, 設定範囲: 室温+10°C~60°C (45°C標準) 反応コイル, フローセル, インジェクションバルブその他流路系を格納可能
外形寸法, 重量	20(W) × 35(H) × 25(D) cm, 8.5 kg
電源	AC 100~240V 50/60Hz 75W

※製品の的外観および仕様は都合により予告なく変更することがあります。

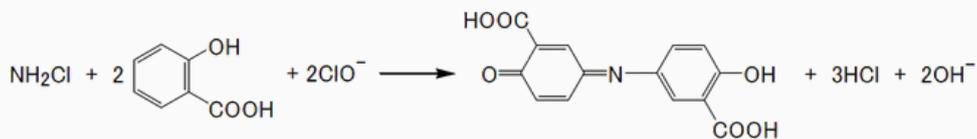
<フローシステム>



キャリアー溶液：H₂O

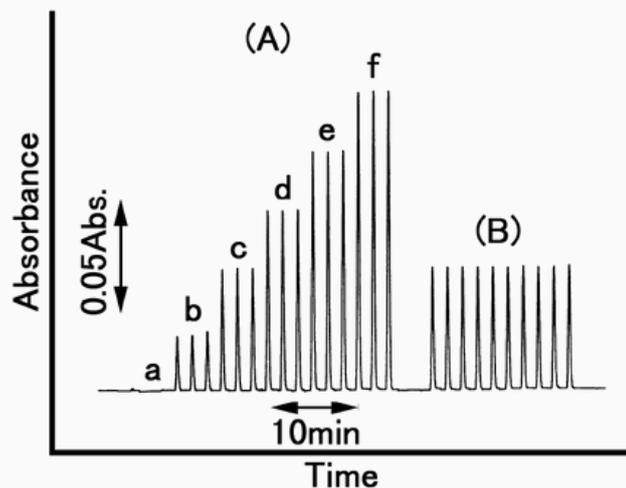
NH試薬溶液 I：サリチル酸ナトリウム+ニトロプルシッドナトリウム

NH試薬溶液 II：次亜塩素酸ナトリウム/NaOH溶液



アンモニウムイオンが次亜塩素酸イオンの共存下、サリチル酸と反応して生じるインドフェノール誘導体の吸光度を測定して、アンモニウムイオンを分析します。

<検量線シグナル例>



(A) 検量線シグナル

[N-NH₄⁺] / ppm a, 0; b, 0.2; c, 0.4; d, 0.6; e, 0.8; f, 1.0

(B) 再現性テスト

[N-NH₄⁺] = 0.4ppm RSD = 0.26%

OGAWA & CO., LTD.
Flow Injection Analysis

株式会社 小川商会

フローインジェクション分析機器事業部

〒657-0029 神戸市灘区日尾町3-1-25 サンハイツ六甲 501

TEL: 078-821-6610 FAX: 078-821-6610

URL: <https://ogawajapan.com>